

平成28年6月28日(火)17:45から19:20まで、2号館2階の医師・研究者キャリア支援センター会議室において平成28年度第1回 Jichi Joy Café ワールドカフェが『明日の自治女性医師への処方箋』と題して開催されました。

内容は以下のとおりでしたが、日頃の思いや悩みについて活発な話し合いが持たれました。

皆様大変お世話様でした。

次回も企画いたしますので、少しずつこのような輪を広げてまいりましょう。

記

1 開催内容

自治女性職員のワークライフバランスについて話しませんか。

思いや悩みを共有し、またその解決方法が他の皆さんの参考になると考えました。年間3回を通して、皆さんの意見を生かして「明日の自治女性医師への処方箋」を作成します。自治医大の働きやすい職場にするためのアイデアを集約し、女性医師研究者キャリア支援センターから職場の環境改善に向けた働きかけに役立てたいと思います。ご協力お願いいたします。

カフェルール：◎会話を楽しみましょう ◎思いを伝え共に助け合いましょう。

◎お互いを尊重しましょう◎アイデアをつなぎ合わせてみましょう

1 タイムスケジュール

挨拶 医師・研究者キャリア支援センター センター長 小宮根真弓

5:45～6:00着席・始まるまでの準備

①2グループに分かれて座ります。

②席順・飲み物の確保・着席・名札の記入

③ポストイットにワークライフバランス・キャリアについての悩みを記入

当てはまるカテゴリーのところへ貼っていく

テーマのカテゴリー：職場、家事、育児や家族、キャリア

6:00～6:15 自己紹介（全員、簡単に近況報告もお願いします）

その1 カテゴリーからテーマを選択 グループトーク 今苦労していることや悩み

6:15～6:30 石川・小宮根席を交代

その2：アイデアやこうしたらよかったという経験についてシェア

6:30～6:45 そのグループで出た話題を1、2個皆さんに紹介

まとめ コーディネーター 石川由紀子

写真撮影：大学のWEBページに掲載されます。

おつかれさまでした！

6:45～7:30 お食事・交流会

お知り合いになりましょう。思いっきり普段の愚痴をこぼしましょう。

7時半で一旦終了ですが、時間が大丈夫な方は8時までどうぞ。

軽食・スイーツ・ドリンクパーティ お子さんも一緒にどうぞ。

2 具体的意見内容

(1) 職場環境

- ① 産前休暇を8Wにしてほしい。
- ② 会議を時間内にしてほしい。
- ③ 3歳を越えての30h勤務制度がほしい。
- ④ 人手に対して仕事量が多い。

時間内に仕事を終えるのが難しかったり、検査/手術の予定が先々まで延びてしまったりする。

(2) 家事

- ① ヘルパーさんに払っているお金の補助
- ② あいりすを土、日明けてほしい。
- ③ 仕事で疲れて家事が疎かになりがち
- ④ 自分の時間が取れない。

特に休日

(3) 育児

- ① 長期休みの小学生高学年の昼ごはん等
- ② 子供が「ママ」の時期で幼稚園に行きたがらない。

(4) キャリア

- ① 女性の特性が正しく評価されにくい。
- ② 子育てと仕事の両立が職場で理解が得られず、キャリアを諦めた。

(5) その他

- ① 保育園の送迎がギリギリでたまに怒られてしまう。

3 アンケート結果

今の気分について、どれかに○をおねがいします

1 非常にそう思う	2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない	4 全くそう思わない

質問①来てよかったと思いますか 1 = 5名 2 = 1名 3 = 0 4 = 0

質問②また来たいと思いますか 1 = 4名 2 = 2名 3 = 0 4 = 0

質問③時間帯・場所は 良い = 5名

他の時間帯・場所が良い

(場所を大学の近くにしてほしい)

その他の意見

*もっと参加者が増えて交流できると良いと思う。

*意見を出し合って話し合うというスタイルだったので、思っていることを言い合

えてよかった。答えを求めようとするよりは、普段こんな事で悩んでいる、大変な思いをしているという心のモヤモヤを吐き出す方が、充実感を感じられるような気がした。

* 雑談のような雰囲気ですべての時間を過ごせたのが楽しかった。

* 職場環境改善への提言に向けて準備をしたいと思います。

* 時間帯や場所ともに参加しやすいと感じた。

* 同年代の参加が少なく残念でしたが、今後の参考になる話をたくさん伺えて良かった。さまざまなライフステージに合わせた会（例：年齢別や子育て限定など）も良いかと思いました。

* 悩みはいろいろできましたが、それをどう解決したらよいかアイデアがなかなかかばなかったのですが、それでも子育てと仕事の両立に頑張っていられる先生方とお話しができて、悩みを抱えながらもなんとかなるのかもしれないと安心することができました。

(集合写真)

